労働条件通知書

	殿		年	月 日	ł
_					
	使用 凿 職 氏 名				
契約期間	期間の定めなし、期間の定めあり()(年月日~	年	月	日)	
就業の場所					
従事すべき 業務の内容					
始業、終業 の時刻、休 憩時間、就 業 時 転 換 ((1)~(5)の	1 始業・終業の時刻等 (1) 始業(時 分) 終業(時 分) 【以下のような制度が労働者に適用される場合】 (2) 変形労働時間制等:()単位の変形労働時間制・交 時間の組み合わせによる。		として、	次の勤務	ζ
うち該当す るもの一つ に を付け ること。)、	始業(時 分) 終業(時 分) (適用 始業(時 分) 終業(時 分) (適用 始業(時 分) 終業(時 分) (適用 (3) フレックスタイム制;始業及び終業の時刻は労働者の決定に委ねる	日 日 。))	
所定時間外 労働の有無 に関する事 項	(ただし、フレキシブルタイム(始業) 時 分から (終業) 時 分から (終業) 時 分から コアタイム 時 分から (4) 事業場外みなし労働時間制;始業(時 分) 終業	時 時 (分、 分) 時	-	
	(5) 裁量労働制;始業(時 分) 終業(時 分 者の決定に委ねる。 詳細は、就業規則第 条~第 条、第 条~第 条、 2 休憩時間()分 3 所定時間外労働の有無 (有 (1週 時間、1か月 時間、1年	第		ン、労働 · 条 · 無)	
	4 休日労働(有 <u>(1か月 日、1年 日)</u> , 無)	H/J	<u>101 /</u> ,	, 	
休日	・定例日;毎週 曜日、国民の祝日、その他(・非定例日;週・月当たり 日、その他(・1年単位の変形労働時間制の場合一年間 日 (勤務日))	
	毎週() その他() 詳細は、就業規則第 条~第 条、第 条~第 条				
休暇	1 年次有給休暇6 か月継続勤務した場合日継続勤務6か月以内の年次有給休暇(有・第か月で日時間単位年休(有・無)2 その他の休暇有給(無)			
	無給 () 詳細は、就業規則第 条~第 条、第 条~第 条				

(次項に続く)

賃 金	1 基本賃金 イ 月給(円)口 日給(円)	
	八 時間給(円)	
	二 出来高給(基本単価 円、保障給	円)
	ホーその他(円)	
	へ 就業規則に規定されている賃金等級等	
	2 諸手当の額及び計算方法	
)
	イ (手当 円 / 計算方法: ロ (手当 円 / 計算方法:)
	八 (手当 円 / 計算方法:)
	二(手当 円 /計算方法:)
	3 所定時間外、休日又は深夜労働に対して支払われる割増賃金率	
	イ 所定時間外 法定超 月 60 時間以内()%	
	月 60 時間超 () %	
	所定超()%	
	口 休日 法定休日()%、法定外休日()%、	
	八 深夜()%	
	4 賃金締切日 () - 毎月 日、() - 毎月 日	
	5 貞金文払口(
	3	7
	8 昇給(有(時期、金額等) , 無)	į
	9 賞与(有(時期、金額等), 無)	
	10 退職金(有(時期、金額等), 無)	
退職に関す	1 定年制 (有 (歳) , 無)	
る事項	2 継続雇用制度(有(歳まで) 無)	
	3 自己都合退職の手続(退職する 日以上前に届け出ること)	
	4 解雇の事由及び手続	_
)
		J
	詳細は、就業規則第 条~第 条、第 条~第 条	
その他	・社会保険の加入状況(厚生年金 健康保険 厚生年金基金 その他())
	・雇用保険の適用(有 , 無)	
	・その他()
	日体的に第四されて計光相則なく	
	・具体的に適用される就業規則名()	

「契約期間」について「期間の定めあり」とした場合に記入

更新の有無	1 契約更新の有無 [自動的に更新する・更新する場合があり得る・契約の更新はしない・その他()] 2 契約の更新は、次のいずれかにより判断する ・契約期間満了時の業務量・勤務成績、態度・能力・会社の経営状況・従事している業務の進捗状況	
	・その他()

以上のほかは、当社就業規則による。

短時間労働者の場合、本通知書の交付は、労働基準法第15条に基づく労働条件の明示及び短時間 労働者の雇用管理の改善等に関する法律第6条に基づく文書の交付を兼ねるものであること。 登録型派遣労働者に対し、本通知書と就業条件明示書を同時に交付する場合、両者の記載事項のう

ち一致事項について、一方を省略して差し支えないこと。